

国際ロータリー(RI)第2760地区の近藤雄亮地区ガバナーが中部経済新聞社を訪れて永井征平社長と歓談、新年度の国際テーマ「ロータリーに輝きを」と地区方針「集まろう・語ろう・楽しもう」の趣旨などを説明した。近藤ガバナーは、数多くの地区行事の中でも11月に開催する「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」と来年2月に半田市と名古屋市で開催する地区大会について「私の最大行事として成功させたい」と話し、特に力を入れて取り組んでいく考えを示した。

「ワールドフード」など成功を

国際ロータリー 第2760地区 近藤ガバナーが本社来訪



新年度の地区方針などを話す近藤ガバナー

高須洋志地区幹事とともに中部経済新聞社を訪れた近藤ガバナーは、永井社長に就任のあいさつを行った後、新年度のRIの国際テーマ、地区方針などについて次のように意見を交わした。

永井「地区ガバナーの役割への就任、苦勞さまざま。現在の心境はいかがですか」
近藤「一昨年1月にガバ

永井社長と対談楽しいイベントに

ナノミニに決まった時に自分は地区のために何ができるかを考えた結果、地区内全てのクラブを公式訪問してできるだけ多くの人と知り合い、皆さんから教えを請えたいという結論に達して準備を始めました。あっという間に2年半の準備期間が過ぎさったというのが実感で、現在は高須地区幹事はじめ多くの皆さん方の支援と協力を得ながら、地区ガバナーの大役に全力で取り組んでいきたいと決意を新たにしました。

「地区大会では、本年度は財団奨学生、米山記念奨学生や青年奉仕プログラム関連の新生代の人たちの認知度のアップを目指した大会にしたいと考えています。ロータリーデー(ワールドフード+ふれ愛フェスタ)と地区大会を、私の最大行事として皆さん方のお力添えをいただいで成功させたいと思っています」

永井「新年度はどのような方針で取り組みますか」
近藤「本年度のゲイリーC・KホアンRI会長は、国際ロータリーのテーマとして『ロータリーに輝きを』と提唱されています。これはロータリアン一人一人、そして各クラブが目標を立てて実践し、新たな出会い、目標達成の感動を得ることによってロータリアン一人一人が光を放ち、クラブが輝き、ひいては地区、ロータリー全体が輝くことを意味しています」

永井「特に力を入れていく事業は」
近藤「計画している事業は、いずれも重要な事業ばかりですが、中でも11月1日から3日まで名古屋市栄の久屋大通公園で開催する『ワールドフード+ふれ愛フェスタ』と来年2月21、22の両日に半田市と名古屋市で開催する地区大会に特に力を入れていきたいと考えています」

「さらにホアンRI会長『ワールドフード+ふれ愛フェスタ』と来年2月21、22の両日に半田市と名古屋市で開催する地区大会に特に力を入れていきたいと考えています」



永井社長(左)と歓談する近藤ガバナー(中央)、高須地区幹事